



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7244 URL http://www.ichikoh.com/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) サワー ハイコー
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年9月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	66,906	△6.0	4,016	△19.9	4,172	△29.8	2,756	△40.9
2018年12月期第2四半期	71,168	17.5	5,017	116.6	5,941	114.3	4,665	110.8

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 2,715百万円(△32.6%) 2018年12月期第2四半期 4,031百万円(38.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	28.69	—
2018年12月期第2四半期	48.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	106,191	42,305	38.7
2018年12月期	102,416	39,997	37.9

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 41,113百万円 2018年12月期 38,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	2.50	—	4.50	7.00
2019年12月期	—	3.50	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	△4.7	7,800	△13.4	7,400	△23.7	5,000	△48.8	52.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期 2 Q	96,292,401株	2018年12月期	96,250,001株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	164,036株	2018年12月期	163,749株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期 2 Q	96,098,272株	2018年12月期 2 Q	96,070,358株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(表示方法の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
(参考情報) 個別業績の概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の悪化傾向が顕著となったことに加え、米中貿易摩擦や海外経済の減速から輸出が弱含んで推移するなど、景気動向に陰りがみられる状況となりました。世界経済においては、北米は消費や雇用など景気指標は総じて良好な水準を維持した一方、中国は昨年までの投資抑制策や米国による関税引き上げによって、経済は減速傾向を示しました。アセアンの新興国については、中国の景気減速の影響から輸出が落ち込むなど、堅調に推移してきた景気にやや弱さがみられるようになりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は後半に伸長し前年同期比では増加となりました。アセアンの自動車生産は、マレーシアやインドネシアの生産は増加しましたが、タイの生産は減少となり、アセアン3カ国の合計では自動車生産台数は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。また、中国の自動車生産台数は、景気減速の影響から特に乗用車の生産がふるわず、前年同期比で減少しました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間においては、アセアンの海外子会社の合算ベースでは増収増益を確保しました。一方で、日本国内は、昨年来の好調な車種の増産は継続したものの輸出車種を中心とする減産などの影響や、研究開発費などの費用の増加により、前年同期比で減収減益となりました。この結果、売上高は66,906百万円(前年同期比6.0%減)、営業利益は4,016百万円(前年同期比19.9%減)となりました。また、中国合弁会社の持分法による投資利益の減少により経常利益は4,172百万円(前年同期比29.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,756百万円(前年同期比40.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、アセアンの海外子会社の合算ベースでは増収増益を確保しました。一方で、日本国内は、昨年来の好調な車種の増産は継続したものの輸出車種を中心とする減産などの影響や、研究開発費などの費用の増加により、売上高は62,683百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益は3,968百万円(前年同期比19.7%減)と前年同期比で減収減益となりました。

② 用品事業

用品事業におきましては、当社グループ内向け売上の増加により売上高は4,191百万円(前年同期比3.8%増)となったものの、販路拡大のための費用増の影響もあり、営業利益は54百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

③ その他事業

その他事業におきましては、中国向けの電球の売上並びに当社グループ内向け売上の減少などから、売上高は865百万円(前年同期比15.4%減)、営業損失は23百万円(前年同期は営業利益11百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は106,191百万円となり、前連結会計年度末比で3,775百万円の増加となりました。主な要因は、固定資産全体は概ね横ばいで推移しましたが、その他流動資産が7,661百万円増加した一方で、現金及び預金が1,617百万円、受取手形及び売掛金が3,063百万円それぞれ減少したことなどから流動資産が全体で3,951百万円増加したことであります。なお、その他流動資産の増加のうち7,556百万円は当社親会社であるヴァレオ社およびその関連会社への貸付金の増加であります。当該貸付については、市場金利を勘案して利率を決定しております。

負債は63,885百万円となり、前連結会計年度末比で1,467百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が4,935百万円増加した一方で、短期借入金が1,373百万円、リース債務(1年以内返済予定分を含む)が2,601百万円それぞれ減少したこと等であります。

純資産は42,305百万円となり、前連結会計年度末比で2,308百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は9,780百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益3,996百万円、減価償却費4,227百万円及び賞与引当金の増加2,057百万円等であります。

投資活動の結果支出した資金は11,829百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出4,309

百万円、短期貸付金の増加額（貸付による支出）7,556百万円等によるものであります。

財務活動の結果増加した資金は452百万円となりました。主な要因は、長期借入れによる収入が5,500百万円がある一方で、長期借入金の返済による支出564百万円、リース債務の返済による支出2,673百万円、短期借入金の純増減（返済による支出）1,373百万円があること等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、2019年2月14日に公表したものを修正はございません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,215	8,597
受取手形及び売掛金	23,590	20,526
電子記録債権	1,049	1,063
商品及び製品	3,463	4,378
仕掛品	712	785
原材料及び貯蔵品	3,357	3,326
その他	1,277	8,939
貸倒引当金	△75	△76
流動資産合計	43,589	47,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,432	11,134
機械装置及び運搬具（純額）	11,842	11,411
工具、器具及び備品（純額）	4,561	3,828
土地	3,379	3,386
リース資産（純額）	3,767	2,238
建設仮勘定	4,064	6,842
有形固定資産合計	39,048	38,842
無形固定資産		
のれん	324	227
その他	985	1,143
無形固定資産合計	1,309	1,370
投資その他の資産		
投資有価証券	5,167	5,263
長期貸付金	519	490
繰延税金資産	4,084	4,227
その他	8,704	8,464
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	18,467	18,437
固定資産合計	58,826	58,650
資産合計	102,416	106,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,831	26,100
短期借入金	2,100	726
1年内返済予定の長期借入金	1,329	1,329
リース債務	3,072	1,547
未払法人税等	1,549	1,250
未払費用	3,476	4,053
賞与引当金	921	2,979
役員賞与引当金	23	72
製品保証引当金	1,552	1,687
その他	6,995	5,083
流動負債合計	46,853	44,831
固定負債		
長期借入金	4,604	9,539
リース債務	1,654	577
繰延税金負債	190	171
退職給付に係る負債	8,858	8,541
資産除去債務	202	170
環境対策引当金	8	8
その他	45	45
固定負債合計	15,565	19,054
負債合計	62,418	63,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,972	8,986
資本剰余金	2,491	2,505
利益剰余金	29,821	32,146
自己株式	△45	△45
株主資本合計	41,239	43,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,423	1,474
為替換算調整勘定	△2,817	△2,973
退職給付に係る調整累計額	△1,047	△979
その他の包括利益累計額合計	△2,441	△2,478
非支配株主持分	1,199	1,192
純資産合計	39,997	42,305
負債純資産合計	102,416	106,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	71,168	66,906
売上原価	56,373	52,612
売上総利益	14,794	14,294
販売費及び一般管理費	9,777	10,277
営業利益	5,017	4,016
営業外収益		
受取利息	45	39
受取配当金	162	151
持分法による投資利益	1,127	122
その他	258	80
営業外収益合計	1,593	394
営業外費用		
支払利息	218	94
支払手数料	140	22
為替差損	164	67
その他	146	53
営業外費用合計	669	238
経常利益	5,941	4,172
特別利益		
固定資産処分益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	128	176
特別損失合計	128	176
税金等調整前四半期純利益	5,814	3,996
法人税等	1,108	1,232
四半期純利益	4,705	2,764
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,665	2,756

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	4,705	2,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△346	51
為替換算調整勘定	△263	△32
退職給付に係る調整額	9	68
持分法適用会社に対する持分相当額	△72	△135
その他の包括利益合計	△673	△48
四半期包括利益	4,031	2,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,002	2,719
非支配株主に係る四半期包括利益	28	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,814	3,996
減価償却費	4,836	4,227
のれん償却額	96	94
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,998	2,057
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△40	134
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△198	△222
受取利息及び受取配当金	△207	△190
支払利息	218	94
持分法による投資損益 (△は益)	△1,127	△122
固定資産除売却損益 (△は益)	127	175
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,013	3,043
たな卸資産の増減額 (△は増加)	163	△950
仕入債務の増減額 (△は減少)	304	255
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,189	△1,109
その他	101	△65
小計	12,265	11,417
利息及び配当金の受取額	233	112
利息の支払額	△215	△82
法人税等の支払額	△150	△1,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,133	9,780
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,609	△4,309
有形固定資産の売却による収入	2,068	1
無形固定資産の取得による支出	△92	△174
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	7	△7,556
その他	△806	219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,442	△11,829
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,105	△1,373
長期借入れによる収入	200	5,500
長期借入金の返済による支出	△3,503	△564
リース債務の返済による支出	△3,166	△2,673
配当金の支払額	△144	△432
非支配株主への配当金の支払額	△1	△3
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,721	452
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	886	△1,617
現金及び現金同等物の期首残高	9,422	10,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,308	8,597

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「短期貸付金の増減額(△は減少)」は、明瞭性の観点から開示科目の見直しを行い、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△799百万円は、「短期貸付金の増減額(△は減少)」7百万円、「その他」△806百万円に組替えて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,825	3,653	70,478	689	71,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	385	387	334	721
計	66,827	4,038	70,865	1,023	71,889
セグメント利益又は損失(△)	4,943	59	5,003	11	5,015

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,003
「その他」の区分の利益	11
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益計算書の営業利益	5,017

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,681	3,630	66,312	594	66,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	560	562	271	834
計	62,683	4,191	66,875	865	67,741
セグメント利益又は損失(△)	3,968	54	4,022	△23	3,998

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,022
「その他」の区分の損失	△23
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	4,016

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(参考情報)

(個別業績の概要)

1. 2019年12月期第2四半期の個別業績

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	52,488	△7.8	3,276	△19.2	3,267	△17.2	2,131	△24.8
2018年6月期	56,733	20.5	4,053	97.0	3,946	104.1	2,833	35.5

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	86,359	35,532	41.1	369.64
2018年12月期	82,108	33,761	41.1	351.37

(参考) 自己資本 2019年6月期 35,532百万円 2018年12月期 33,761百万円